

【津和野町】校務DX計画

1. 校務DXチェックリスト自己点検結果を踏まえた課題や解決策

「GIGA スクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果」（文部科学省令和5年11月実施）では、学校間においても取り組みに差があることを把握したことから、特に以下の点について、各学校と連携を図りながら校務DXの推進を図っていく。

（1）クラウドツールの活用

本町では、GoogleClassroom を活用しており、教員と児童生徒間での連絡等に活用している。これまでの校内業務での活用、教員と児童生徒間での活用のみでなく、保護等に対しても活用できるようクラウドツールの検討を行う。

＜学校と保護者間の連絡のデジタル化＞

現在、学校から保護者へのお知らせ等は、紙媒体、メールシステムにて行っている。一部の学校では、アンケート調査をクラウド上で実施している。

今後は、文書での通知のみでなく、出欠席、アンケート調査等デジタル化を行っていきえるようにクラウドツールを全学校が活用できるよう導入について検討する。

（2）FAX・押印等の制度・慣行の見直し

学校でのFAXの活用、保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があるため、継続して状況を把握し、FAXや押印等について制度・慣行の見直しを検討する。

（3）ペーパーレス推進

保護者や外部とのお知らせ等文書での対応のデジタル化やFAX・押印等の制度・慣行の見直しを進め、ペーパーレス化を図る。

併せて、校内共有文書のクラウドツール活用、会議資料等のデジタル化、端末を持ち込んだ会議等の推進によりペーパーレス化を図る。

2. 次世代の校務システムの導入に向けた検討

次世代の校務支援システムへの県内共同調達に向け、県と市町村と協議を進めている。